

種子島のサトウキビを守れ ～さとうきびWinWinプロジェクト進行中～

所属名：熊毛支庁農政普及課

発表者名：田代 一美

＜活動事例の要旨＞

10年後(平成35年)のサトウキビ生産を担う大規模経営者(組織)の育成を目的に、平成26年秋、プロジェクトがスタートした。

対象者を明確にし、目標はわかりやすく、イメージしやすく、役割分担を明確にして活動中。

1 計画された活動の課題・目標と策定過程

(1) 課題・目標と設定理由、及び活動の内容と方法

- ・サトウキビ栽培農家戸数が減少する中、人材育成が急務
- ・この課題解決のための、企画・立案を普及組織が担当
- ・プロジェクトの目標、終了条件の設定

→サトウキビ規模拡大志向生産者組織の立ち上げ(H27.5まで)

5法人モデル(個別：3, 協業組織：1, 集落：1)の立ち上げ(H28.9まで)

種子島版さとうきび法人化育成マニュアルの作成(H28.12まで)

5法人モデルの設立完了とマニュアルの完成により終了

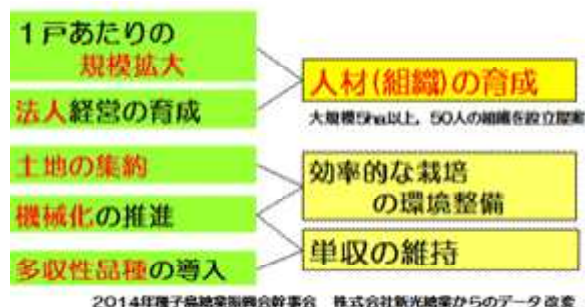
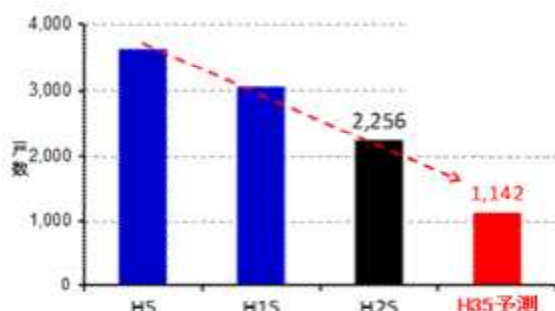


図1 サトウキビ栽培農家戸数の推移と予想

図2 サトウキビ生産の課題と目標

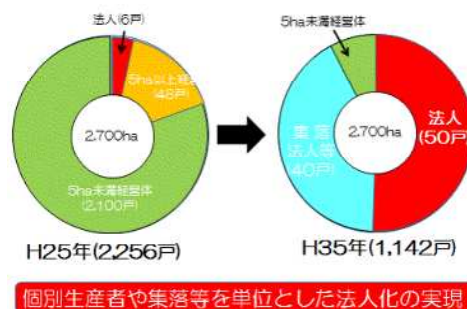


図3 サトウキビ栽培の将来イメージ(目標)

(2) 計画の策定過程

- ・プロジェクト対象者の明確化

→ただし、関係機関の担当者は新たな業務として取り組むのではなく、既存の業務の中で対象者を意識して関与

